



# シリーズ 子どもたちの発達

## 『 衛生を守るということ』

現在は大分落ち着いてきましたが、O—157などいわゆる集団感染などにより、衛生面には皆さん特に気を遣っていらっしゃると思います。私達の保育 ルームも大切なお子さんをおあずかりする施設として、そのことには日々留意 し、衛生のきめを守る努力をしています。そこで、今回は衛生についてお話をしていきたいと思います。

保育ルームは子どもが生活をする場でもあり、大切な環境のひとつです。清潔 感があり、また美的な環境であるということが、この空間に込める私達の想いでもあります。なので毎日の室内の掃除はもちろんのこと、子どもが手を触れる壁 や棚、遊具等は希釈したオスバン液で拭き、子どもが口に入れる遊具は同様のオ スバン液につけた後に水をきり乾燥させます。給食を作る場も日々、衛生・清潔 の管理を子ども達の使う食器から台所用品にいたるまでしています。

そんな大人の姿をモデルとして、子ども達が遊びを通してなのですが一緒に 掃除をしてくれようとしていたり、食事時にこぼしたものを拭こうとしていたり・・・という子ども自身が自分達の部屋が綺麗であることの心地良さや、そのことに自分 も参加しようとする姿につながっています。このことは自然な行為として、子ども達の側から表れてきたことです。

また、このことは身体への清潔にも言えることです。子どもは育児行為(食べる、オムツを交換する、などなど)を通して、鼻水を拭いたり、汚れた顔を拭く ことやトイレで流すことなど、大人がしてくれる行為ではなく自分が快適に過 ぐすために必要なこととして、自身の行為としてするようになりました。

“衛生を守る”というこれらの配慮が、子どもにとっては気持ち良い、快適に 過ごせる、などの「快」の刺激となり脳の神経細胞の働きを活発にします。そして、大脳が発達していきます。それは自ら快適な環境を築き、自分で育とうとする力 にも通じていくのです。“衛生”ということから、子どもの環境への気付きや、生活習慣、更には社会性へと大きく広がって行くのだと思い

ます。ご家庭への責任としてはもちろんのこと、子どものそういった成長を考えると、衛生的な環境を守って行くことはとても大切なことだといえます。

身も心も清潔にしていくことは大切ですが、もうひとつ、美的な環境としての側面も忘れてはなりません。子どもが一日生活する所であることを考えると、子どもの目に触れるもの、耳にするもの(すべてとまで行きませんが)など、文化的で美的感覚を養うことが出来るように整える努力をしています。

例えば、子どもが入ってきてすぐ目にする受け入れ室には、四季を感じられるもの、和的なものなどなど、様々なテーマを設けて子どもが“感じる”事のできる装飾をしています。それは親と子の会話を助けることもあります。そして室内には目に優しい観葉植物を置き、自然を感じられる・安らげるように配慮しています。室内における色使いも同様です。食事コーナーにおいても文化的な食生活をおくれるようあらゆる面から助けることを考え、その雰囲気作りのひとつとして装飾をしたり、緑を置くようにしています。

衛生を守り、美的な空間を作っていくことは簡単なことではありませんが、子どもがよりよく成長していくことにとても大切なことだと思います。そのための努力をこれからも続けていきたいと思っています。

柏市駅前認証保育園 Kid's Encourage  
園長 日下部樹江

